

たいし 議会だより

第140号

発行/太子町議会 編集/議会広報委員会

臨時会 新しい議会構成決まる	p 1 ~ p 4
平成24年 9 月定例会で決まったこと	p 5 ~ p 8
5 議員が町政を問う (一般質問)	p 9 ~ p 11
議会のうごき	p 12

新しい議会構成決まる

平成24年11月1日に第2回臨時会が招集され、正副議長
の選挙、常任委員会、議会運営委員会などの各委員の選任
が行われました。

就任あいさつ

議長 (第38代)

建石 良明



副議長

森田 忠彦



監査委員

山田 強



私たちは、この度11月1日の臨時会におきまして議長、副議長、監査委員に就任致しました。まことに光栄でありますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

さて、思い起こしますと、昨年の3月11日の東日本大震災をはじめ、今年も続く豪雨土砂災害等、自然の脅威が私たちの身近で頻繁に発生しております。

そのような中、太子町におきましても、基礎自治体として、安全・安心のまちづくりを進めていくことは大きな課題であり、議会といたしましても、多くの住民の皆様の付託に応えるべく、議会運営に日々、努めているところでもあります。将来の太子町にとって何をすべきかを第一に考え、先を見据えた町政運営に、全力で取り組んで参りたいと思っております。

今後とも、皆様方のなご一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

第15期太子町議会議員 新メンバー11人紹介



羽山 茂男

山田2979
Tel.98-0579
公明クラブ



中村 直幸

山田823-115
Tel.98-3566
太政クラブ



松永 満

山田694-8
Tel.98-4388
新風クラブ



寺町 幸雄

太子618
Tel.98-2798
新風クラブ



阪口 寛

春日98-181
Tel.98-2199
日本共産党



西田 いく子

春日98-429
Tel.98-1655
日本共産党



村井 浩二

山田461-1
Tel.98-3122
ふたかみ会



田中 祐二

春日1435-5
Tel.98-4532
政友クラブ



山田 強

春日1752
Tel.98-0863
政友クラブ



森田 忠彦

山田2880
Tel.98-0022
政友クラブ



建石 良明

山田3655-2
Tel.98-5014
政友クラブ

議席順に
紹介しています



常任委員会

総務まちづくり 常任委員会

所管は、総務室・住民室・出納室・地域整備室・生活環境室及び議会事務局に関する事項

委員長

羽山 茂男

副委員長

松永 満

委員

阪口 寛

田中 祐二

山田 強

森田 忠彦

建石 良明

福祉文教 常任委員会

所管は、福祉室・健康医療室、及び教育委員会に関する事項

委員長

中村 直幸

副委員長

村井 浩二

委員

寺町 幸雄

西田いく子

山田 強

森田 忠彦

建石 良明

予算常任委員会

所管は、一般会計の予算（補正予算も含む）に関する事項

委員長

森田 忠彦

副委員長

羽山 茂男

委員

中村 直幸

松永 満

寺町 幸雄

阪口 寛

西田いく子

村井 浩二

田中 祐二

山田 強

建石 良明

決算常任委員会

所管は、一般会計の決算に関する事項

委員長

森田 忠彦

副委員長

羽山 茂男

委員

中村 直幸

松永 満

寺町 幸雄

阪口 寛

西田いく子

村井 浩二

田中 祐二

建石 良明

議会運営委員会

議会が円滑に進むよう議事日程や運営等を協議します。

委員長

阪口 寛

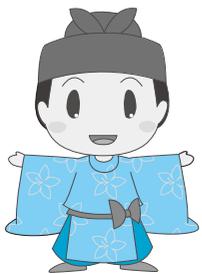
副委員長

田中 祐二

委員

羽山 茂男

中村 直幸



広報委員会

『議会だより』を作成し、発行します。

委員長

西田いく子

副委員長

寺町 幸雄

委員

村井 浩二

森田 忠彦

建石 良明

松永 満
山田 強

組合議会議員

南河内

環境事業組合

寺町 幸雄

会派構成

◎ 幹事長
○ 副幹事長

政友クラブ

◎ 田中 祐二
○ 山田 強
森田 忠彦
建石 良明

新風クラブ

◎ 寺町 幸雄
○ 松永 満

太政クラブ

◎ 中村 直幸

公明クラブ

◎ 羽山 茂男

日本共産党

◎ 阪口 寛
○ 西田いく子

ふたかみ会

◎ 村井 浩二

各種委員・協議会等委員

都計審・農振整促協	上水道事業運営審議会	ゴルフ場環境保全協議会
田中 祐二	松永 満	羽山 茂男
山田 強	阪口 寛	森田 忠彦
建石 良明	交通事故をなくす運動推進協	国民健康保険運営協議会
介護保険事業計画推進	中村 直幸	西田いく子
村井 浩二	松永 満	建石 良明
人権尊重のまちづくり審議会	寺町 幸雄	保健事業推進協議会
羽山 茂男	村井 浩二	阪口 寛
表彰審査会	学校給食運営委員会	献血推進協議会
田中 祐二	西田いく子	寺町 幸雄
人権協会	民生委員推薦会	山田 強
森田 忠彦	中村 直幸	

第2回臨時会

選任同意

任期満了に伴い全会一致で選任に同意しました。

●教育委員会委員

羽田 妙子氏

〔任期〕平成24年11月21日から28年11月20日まで。



平成24年第2回臨時会 議決結果一覧表

件名	結果
議長選挙	投票
副議長の選挙	投票
常任委員会委員の選任	選任
議会運営委員会委員の選任	選任
南河内環境事業組合議会議員の選挙	選挙
教育委員会委員の選任について同意を求める件	同意
監査委員の選任について同意を求める件	同意

7544万円

は、どう使われたのか

6千円の黒字決算

実質収支も同じく9279万6千円の黒字



中学校校舎耐震化



公民館

9月定例会は、9月3日から、21日までの19日間にわたり開会されました。
町長より平成23年度一般会計歳入歳出決算認定、ほか条例改正等の議案が提出され、それぞれ可決・認定・同意されました。

9月定例会 まどろみなごを決めました



一般会計

【監査意見】(要旨)

平成23年度の歳入歳出決算額は、前年度比、歳入で0・9%、歳出で1・2%と減少。
歳入は、景気低迷等に伴う町税の減収があったものの、地方交付税の増収などにより、減少幅が小さくなっています。一方、歳出に占める自主財源の比率が年々低下傾向にある中、町税収入の更なる徴収率向上と適切な債権管理のもと、不能欠損処分額の抑制に、引き続き万全を期し、事業の実施にあたっては、限られた財源の効率的・効果的な活用により、住民サービスへ

の十分な対応と向上に取り組まれることを望みます。

従前から実施している事業、今後、新たに実施する事業も、引き続き限られた財源を効率的・効果的に活用し、地方分権が推進される中、住民サービスへの対応を十分に図り、その向上に取り組まれることを要望します。
安定的な歳入確保、自主財源の確実な確保の観点から、町税収入の更なる徴収率向上と適切な債権管理のもと、不納欠損処分額の抑制に引き続き万全を期していくことが肝要であると考えます。

平成23年度 各会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	45億7175万8千円	44億7896万2千円	9279万6千円	
国民健康保険特別会計	14億7018万円	14億5100万7千円	1917万3千円	
山田財産区特別会計	694万9千円	313万7千円	381万2千円	
春日財産区特別会計	86万4千円	64万5千円	21万9千円	
下水道事業特別会計	3億1430万8千円	3億1430万8千円	0円	
介護保険特別会計	8億7992万1千円	8億7760万2千円	231万9千円	
後期高齢者医療特別会計	1億3603万2千円	1億3215万6千円	387万6千円	
水道事業会計	収益的収支	2億6484万1千円	2億5164万円	1320万1千円
	資本的収支	4361万4千円	6598万2千円	△2236万8千円
合計	76億8846万9千円	75億7544万1千円		

※水道事業会計の収益的収支の実質収支は、損益計算書による純利益です。また、資本的収支の差引△22,368千円は、内部留保資金等により補てんしています。

※小計及び合計は表示単位未満四捨五入のため、各会計の合計と一致しない場合があります。

平成23年度 決算認定

総額75億

23年度一般会計9279万

平成23年度 主な実施事業

保健センター改修事業／鳥獣被害防止事業／観光イベント支援・特産品開発支援 PR 事業／中学校改修（耐震補強等）事業／公民館改修事業／町民グラウンド施設改修事業／防災行政無線屋外局改修事業／町道維持管理事業／トイレ（オストメイト対応）改修事業など



改修された保健センター

質疑

問 公用車の購入は何台で、契約方法はどのように行ったのか。

答 ワゴン車1台、軽乗用車1台、軽トラック1台の3台を購入した。契約は、指名競争入札により行った。

問 基金を多く積み立てているが、どのような計画で考えているのか。

答 財政調整基金は、法律上前年度の決算剰余金の半額を積立てることになっており、景気の動向や不測の事態に備えて一定額を確保しなければならないと考えている。また、平成21年度に、公共施設整備基金を設立し、後年度の施設整備事業に備えるようにしている。

問 鳥獣被害対策を実施したが、まだ被害がある。今後の対策は。

答 鳥獣駆除対策を実施し年間イノシシ100頭を駆除する計画で進めているがなかなか頭数が減らない。今後も農家が行う被害防止柵の設置など被害対策を引き続き実施していく。

問 介護タクシー補助等は考えているのか。

答 外出支援事業と関連して検討する。

問 放課後児童会、磯長教室の耐震化。指導員の雇用の考え方は。

答 教育関係施設の耐震化工事を今まで進めてきており、磯長教室の工事は今後の課題と考えている。指導員に関しては、現在山田教室に障害児の加配を雇用しており、人数が多くなっている。それぞれ3年間の非常勤雇用期間であるが、事業が円滑に進むように計画的に雇用していく。

平成23年度 積立金現在高

財政調整基金	10億3659万4千円
減債基金	779万4千円
退職手当基金	3940万3千円
老人福祉基金	370万4千円
公共施設整備基金	5億8390万9千円
環境衛生等基金	2250万7千円
太子まちづくり「夢」基金	2561万8千円
たいし・ふれ愛福祉基金	3267万円
聖和台汚水排水処理施設基金	1403万8千円
ふるさと太子応援基金	906万5千円
他基金等	
国民健康保険事業財政調整基金	2439万1千円
介護関係基金	3570万7千円
水道事業関係積立金	3億2300万円
合計	21億5840万円

平成23年度 地方債現在高

一般公共事業債	4649万円
一般単独事業債	9億8683万4千円
学校教育施設等整備事業債	3億9335万2千円
厚生福祉施設整備事業債	0円
臨時財政対策債	24億489万7千円
大阪府貸付金	1億7449万円
その他	4億9892万7千円
他債務	
下水道事業公債費	28億5692万6千円
水道事業企業債	4億5605万円
合計	78億1796万6千円

問 健診の受診率は。

答 国保の特定健診の受診率は平成22年度実績で29・2%。

問 中学校体育館耐震工事の進捗状況は。

答 9月末には体育館内部の工事を完了する予定。10月以降は仮設ヤードの修復工事等が残るだけ。

問 いじめ対策について教育委員会の見解は。

答 いじめはどの子ども、どの学校においても起こり得るものであり、本町も例外ではない。いじめの未然防止に向け、アンケートを1年間に複数回実施したり、スクールカウンセラーによる相談、子どもたち一人ひとりが互いに認め合えるような学級づくりを実践できるよう道徳教育等を通じて自治能力の向上に取り組んでいる。

問 財源の確保を中長期的にどのように考えているのか。

答 過去には経常収支比率が100%を超えていたが、現在は90%近くで推移している。地方債残高が減少、基金は増加し、健全にはなってきた。楽観視はできないが悲観するほどでもない。選択と集中の事業実施のもと自主財源の確保を考えなければならない。

討論

【反対】 民主党は国民の願いを裏切り、大企業減税を持ち出し、PPP参加を画策している。さらに民・自・公3党で消費税の増税を強行した。太子町では、中学校校舎の耐震化、子どもの医療費助成の拡充、農作物被害防止事業など、一定前進したが、公共料金が高いことが、住民のくらしに大きな負担を与えて

いる。公共料金の引き下げ、農業・商工業の活性化施策、循環バスなど、安心して住み続けられるまちづくりを求め反対する。

【賛成】 自主財源が減少する中、安心安全なまちづくりの推進へ予算執行がなされたもの。中学校校舎の耐震化、鳥獣害防止対策、子宮頸がん、ヒブ等の予防接種費用全額助成、中学校卒業までの入院医療費助成などの施策を展開しており、収支黒字で、健全財政を維持したことを評価する。

今後も収支バランスや健全性に配慮しながら、住民目線での町政運営、次世代への負担を強いることのない財政運営に努め、更なる創意と工夫、努力を要望する。

国民健康保険

質疑

問 保険料の徴収率が90%を超えたが、まだ財源不足。基金を取り崩して黒字となっているが、基金が少額となっており、本来1億円程度必要ではないか。

答 平成23、24年度と保険料を据え置き基金を取り崩してきた。今の状況で、基金を増額することは難しい。今後限度額を国基準並みに上げ、保険料も上げざるを得ない状況が見込まれる。

討論

【反対】 「社会保障及び国民保健の向上」を目的とした制度が、国民の生活苦に追い打ちをかけ、人権や命を脅かすことなどあってはならない。一般会計の繰り入れや基金の取り崩し、低所得者や失業者に対する国保料の減免を改善・拡充、国保法第44条にもとづく窓口負担の減免制度を活用

してお金がなくて医療を受けられない人を出さないための努力を。

【賛成】 被保険者の収入減で、保険料収入の増は見込めず、加入者の高齢化や減少、医療費の増など、厳しい運営状況。こうした中、収納率の向上や基金の繰入れなどで黒字を保っており評価できる。

医療費の把握、医療の適正化、保険料収入の確保は重要。未納者への納付相談、収納率向上に努め、運営が円滑かつ安定的に行われることを要望する。

下水道事業

質疑

問 水洗化率の増加の要因は何か。今後の水洗化対策は。

答 増加要因は、46件の新築の接続。未水洗化は、約740件。対象世帯に対して、今後も戸別訪問と啓発を粘り強く実施していく。

介護保険

質疑

問 普通徴収の支払い未済の理由は、生活困窮等か。

答 制度に対する不満から滞納者が固定化されていると思われる。生活困窮者に対しては、生活保護制度等を含め、適切に対応している。



後期高齢者

質疑

問 法定軽減率を府内平均と比較すると町の軽減率が高いと思われるが、所得の少ない人が多いからか。また、若い世代に大きな負担を掛けているのではないか。

答 町の軽減率は、56・9%。所得の少ない加入者が多いことが原因となっている。

討論

【反対】 高齢者を別勘定にし、医療費増が保険料負担に直結し、保険料が際限なく引き上げられる。高齢者への課税の強化、年金給付額の引き下げ、介護保険の負担増など、長生きが悪であるかのような扱い。高齢者が安心



して暮らせる社会をつくることは政治の重要な責任。まずは、元の老人保健制度に戻すとともに高齢者の窓口負担の無料化や保険料負担の軽減を図っていく改革を求め反対する。

【賛成】 制度の廃止や改正を含め、先行き不透明な中、保険料収納事務、広域連合への納付金など、適正、的確に事務処理されており、評価する。後期高齢者医療広域連合と連携し、円滑な運営に努め、今後予想される制度改正に、迅速・的確に対応するよう要望する。

補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	8719万9千円	45億3457万4千円
国民健康保険	1917万2千円	15億5472万6千円
介護保険	838万2千円	9億2461万4千円

条例改定

- 防災会議条例中改正
- 災害対策本部条例中改正

質疑

【任期】 平成24年9月29日から27年9月28日まで。

上田 稔氏

- 固定資産評価審査委員会委員

【任期】 平成24年9月22日から28年9月21日まで。

池端 繁治氏

- 監査委員

任期満了に伴い全会一致で選任に同意しました。

選任同意

答 定時の開催ではない。太子町域では津波が来ることは無いと考えるが、住民が津波の対象エリアに出かけること等も想定して啓発を実施する。

問 会議は定期的に開くのか。防災計画の内容は。津波対策は。

第3回定例会 議決結果一覧表

件名	結果
◆平成23年度決算認定 一般会計 国民健康保険特別会計 山田財産区特別会計 春日財産区特別会計 下水道事業特別会計 介護保険特別会計 後期高齢者医療特別会計 水道事業会計利益の処分及び 決算認定	賛成多数 賛成多数 認定 認定 認定 認定 賛成多数 可決及び認定
◆平成24年度補正予算 一般会計(第2号) 国民健康保険特別会計(第1号) 介護保険特別会計(第1号)	可決 可決 可決
◆条例改正 防災会議条例中改正の件 災害対策本部条例中改正の件 議会委員会条例中改正の件	可決 可決 可決
◆その他 監査委員の選任について同意を 求める件 固定資産評価審査委員会委員の 選任について同意を求める件 土地開発公社決算報告の件 平成23年度決算に基づく健全化 判断比率及び資金不足比率報告 の件	同意 同意 報告 報告

9月定例会の一般質問

町政を問う

5人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

竹内街道1400年に向けた取り組みについて…………… P 9

地域まちづくりの活性化について…………… P 10

特定健診の受診率向上のために…………… P 10

豊かな学校給食に…………… P 10

歩行者の安全を守る道に…………… P 10

町の経済を活性化するために…………… P 11

上下水道料金の引下げを…………… P 11

歴史と文化が息づくふるさと太子の実現…………… P 11

災害に強い安全、安心のまち太子の実現…………… P 11

竹内街道1400年に向けた取り組みについて

山田 強 議員

問 古代、万葉の時代に河内飛鳥と大和飛鳥、竹内峠を挟み、共通の文化圏が形成された。共通する地名、飛鳥・春日・山田・石川にその形跡を残している。

この二つの飛鳥の架け橋となり、また、本町の歴史的な名所と言える竹内街道（大道）が敷設されてから、1400年を迎える。これを機に住民主体による町おこしがスタートしようとしている。

一方、広域的な動きとしては、府県を超え竹内街道1400年首长サミット準備会が本町で開催された。その会長に浅野町長が選任された。本町を全国発信する絶好の機会。今後の展開について、問う。

力を再発掘し、街道の魅力を高めた地域活性化を目指した取り組み。これを契機とした関係市町村、大阪府や奈良県の地域住民の皆様をはじめ地域の団体、大学や企業等とも連携を図るもの。今後は、来年の首长サミットへの継続したとり組みを視野に実行委員会で連携や周知方法を中心とした検討を行う予定になっている。

問 本町には日本で唯一の竹内街道の名のついた歴史資料館がある。そこで、1400年を契機に、この竹内街道歴史資料館にスポットライトを当て、竹内街道1400年の発信拠点として全国に発信できないか。町長の考えは。

と考えている。隣接する葛城市をはじめ、関連市町村とも連携を図ると共に地域の団体と一緒に becoming 竹内街道をPRする案等も考えられる。議員をはじめ、住民の皆様の協力をお願いしたい。

要望 各市町村が1400年の冠の下でアイデアを出され連携を深め、広域的で継続的な事業の展開ができるよう要望する。

答 竹内街道1400年首长サミットは、竹内街道と周辺地域の魅

答 この資料館を拠点とした活用が効果的な方法の一つではないか



竹内街道灯路祭り

方法の一つではないか

地域まちなびひろの
活性化について

建石良明 議員

「観光・まちおこし協会（仮称）」設立に向けてのこれまでの経過と今後の展開について

自然休養村センターの改修事業について

過と今後、どのような形で協会として事業をされるのか。

答 これまで、太子町の町おこしにかかわる団体が構成される太子町にぎわいづくり協議会が活動の中心となり、検討を重ねられ仮称「観光・まちおこし協会」の設立に向けた取り組みが進められている。

等が活用できるような改修計画を検討しているが、どのような計画・活用となるのか。

9月には、協会設立準備会が発足され、本格的に事業内容を検討し、協会の規約、事業計画等を協議する中、今年度の12月の協会設立を目標とされている。町としても可能な限り支援体制を整えていく。

答 地域コミュニティ活動を支援する為、交流や情報交換の拠点施設として整備をする。本年度は改修基本計画を策定し、来年度内に改修工事を行う。

トイレのバリアフリー化や電気設備も改修し、住民と行政が一体となって観光・まちおこしの活動、ボランティア等の拠点となる施設として生まれ変わるような改修を進めていく。

現在では太子町にぎわい協議会として観光関係や町おこし団体等を中心とする組織が設立されると聞いているが、設立にむけての経

問 観光・まちおこし協会の事務所を含め、各種団体や住民の交流の場、情報の交流の場として既存施設である自休センターを町おこし、ボランティア団体



自然休養村センターを拠点施設に

特定健診の取組の
向上のため

西田つぐ子 議員

問 健診受診率を高めることは、健康な住民を増やすことや、国民健康保険料、介護保険料を下げることにもつながるのでは。町の特定健診受診率、その他のがん検診の府内自治体との比較は。

答 町では、メタボ健診に加え、従来の基本健診の項目を単独実施。

本町の受診率は、平成22年度の特定健診、乳がん検診、胃がん検診は府内平均より上だが、子宮頸がん、大腸がん、肺がん検診については下回っている。しかし、全国と比べると、大阪府全体の受診率は低い。健康づくりを工夫を凝らしたい。

問 集団健診も復活し、受診率の引き上げを。

答 集団健診は住民のニーズもあり、前向きに検討する。特定健診

とがん検診をセットで受診していただく等、受診しやすい環境を総合的に検討したい。

Q 豊かな学校給食に

問 大阪狭山市では、小中学校給食でのアレルギー対応に取り組んでおり、卵、乳製品イカ、エビ、カニの除去食、デザート代替を行っている。千早赤阪村でも、子どもの安全と健康の為に取り組んでいる。町でもアレルギー対応食の実施を。

答 アレルギーの対応には、①詳細な献立表による対応②弁当対応③除去食対応④代替食対応の4段階がある。本町では、食べられない場合は弁当持参対応。

除去食実施には、アレルギー専用作業スペースの確保、シンクや調理台等の機器、専属の

栄養士や正しい知識を持った専門調理員の確保等、様々な課題があり、除去食対応は、今後の検討課題と考える。

Q 歩行者の安全を守る道に

問 府へ側溝の蓋かけへの働きかけ、今後の計画は。町内危険地帯の把握を。

答 大阪府の財政事情等で、現在のところ計画はない。引き続き歩行空間の確保の早期実現を求める。美原太子線で、既設電柱を引き抜くことで、歩行空間の安全性に問題が生じた場合、対策を講じる。

交通安全施設の整備や安全運転啓発看板の設置等、各現場に合った対応策、道路パトロールや各PTAの要望等、危険箇所を把握し、安全・安心のまち推進に努める。

町の経済を活性化するために

阪口 寛 議員

歴史と文化が息づくふるさと太子の実現

寺町幸雄 議員

問 太子町の商工業、農業を活性化させ、景気をよくし、税収を増やして自主財源を確保すべきではないか。地域経済の活性化や波及効果の大きい住宅リフォーム助成制度は全国の3割の自治体が実施し、効果を認め、地域経済振興施策のナショナルスタンダードとなりつつある。この制度は、住宅をリフォームしたい住民に自治体から一定額の助成するもの、工事を地元の中小建築業者に発注するのが条件のため、不況で仕事が減っている業者から歓迎されている。本町の考えは。

自然エネルギーの活用は脱原発を進める代替エネルギーとしてだけでなく、地域の中小企業の新しい仕事おこしと雇用を生み出している。本町でも、先ず太陽光発電などへの補助制度実現を。

答 住宅リフォーム助成制度は、他の制度もあり創設は考えていない。太陽光発電の補助は、府内17市町で実施し、地域経済の活性化で一定の評価はしている。いずれも、今後の府内市町村の動向を注視する。

Q上下水道料金の引下げを

問 太子町の水道料金、下水道使用料は、大阪府下での高さの順位はどれぐらいか。

本町の水道会計は毎年黒字か。それはどれくらいか。また、大阪広域企業団から受水単価が下がれば料金引下げが可能ではないか。水道の積立金等は平成22年度末で7億5千800万円にもなっている。設備更新は国庫補助も有効に活用すれば、水道料金の引下げは可能だ。

下水道会計は、住民からの使用料収入は1億4千500万円、汚水処理費用は7千150万円になっている。公債費の償還のために一般会計から1億800万円繰り出しているが、地方交付税で約1億円算入されている。住民ばかりに負担を求めず、料金引下げを。

答 水道料金は府内8番目、下水道使用料は7番目。

水道会計は平成17年度から23年度まで毎年黒字。23年度の純利益は1千504万円。受水単価の動向は注視するが、施設の整備更新のため、料金の引下げは困難。

下水道整備は多額の初期投資をし、毎年度の償還額が多く、料金の引下げは極めて困難。

問 生活環境保全、遊休農地対策、防災行政無線の整備、自主防災組織の役割、国道166号線歩行空間確保等の取り組みについて尋ねる。先立って「先般議決いただいた子育て府下トップレベルの医療費助成の拡大についてお取り組み頂いた事への感謝のお声、喜びのお声が多く寄せられている事を報告します」。

さて産業廃棄物、ごみ不法投棄の問題、遊休農地に対する対策について、たばこのポイ捨てによる火災の心配に対して行政や農業団体がどのように対処されているのか。

Q 災害に強い安全、安心のまち太子の実現

問 防災行政無線次世代対応の整備について、166号線の歩行者の安全確保は必要不可欠の案件、今後の事業の進捗状況、今まで要望している事の回答を。

さらに地元住民から託された写真付き要望書を提出していることに対して回答を求めらる。

答 防災行政無線次世代化は重要課題と認識している。調査研究し平成24年度中更新の方向性を示す予定。自主防災組織のパワーアップの支援及び自助、共助、公助の連携による更なる地域防災力のアップに取り組む。166号線の歩道空間の確保について大阪府の財政事情により、歩道設

置計画はない。交通安全に引き続き強く府に要望する。

要望 充実した防災行政無線、次世代対応の整備を要望しておく。166号線安全確保、遊休農地の火災の心配に対する問題対策は必要不可欠。職員の皆様方の英知の結集で、よりよい計画、実行を目前に見える形での対応を。また消防団消防署の方々の平素の活動に感謝する。更に引き続き、地域防災力のアップに尽力を要望する。



現状の遊休農地

議会のうごき



議会の透明性を高めます

『議会改革協議会』で議論

「議員は、住民の直接選挙によって選ばれ、住民全体の代表者として議会を構成し、議会活動を通じて住民の個別意思を総合して町や村としての意思を形成する任務を有する。これが議員としての地位の本質である」といえる。「議会が持つ二つの使命。すなわち『具体的な政策の最終決定』と『行財政運営の批判と監視』を、完全達成できるよう議会の一員として懸命に努力すること

『議会改革協議会』立ち上げに至った理由

「議会基本条例」「議員政治倫理条例」の設置や、議会の民主的な運営など、様々な議題が上がりました。熟議が必要な案件

一歩ずつ改革へ

「議員必携」より「が議会の職責である」地方分権が進む中、議会の持つ役割が強められています。「住民のみなさんに議会をもっとよく知ってもらおう。透明性を高めよう」と、全議員が参加し、意見を出し合う場として『議会改革協議会』を設置しました。

平成23年	11月22日	『協議会』 立ち上げの確認
	12月8日	第1回『協議会』
平成24年	1月23日	第2回『協議会』
	2月28日	第3回『協議会』
	3月23日	第4回『協議会』
	4月24日	第5回『協議会』
	5月8日	第6回『協議会』
	5月17日	第7回『協議会』
	7月18日	第8回『協議会』
	9月3日	第9回『協議会』
	9月10日	第10回『協議会』

「住民のみなさんに見える議会」へ、今後

住民のみなさんに見える議会へ

は、今後、調査研究を進めること。必要があれば、学識経験者を招いての学習会を開くことなど腰をすえた議論を重ねることを確認しました。また「定数問題」も議論を重ね、6月議会では、定数を12人から11人とする条例改正、9月議会では、常任委員会での議論をさらに深めるため、決算と予算の常任委員会を増やす委員会条例の改正など、改革に努めました。



次の定例会は、
12月に開催されます。
ぜひ、傍聴にお越しください。

日程については、ホームページ、
広報無線でお知らせします。

自治功労賞受賞

11月3日、文化の日に、長年の議会議員としての功績に対し、自治功労の部において、阪口寛議員が、表彰を受けました。



議員の香典・弔電の自粛、年賀状などの挨拶状を廃止しています

太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様の弔事に際しまして議員個人の香典等の自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いします。